

平成30年度活動報告書



特定非営利活動法人
トルシーダ



平成30年度実施事業



誰もがあたりまえに学べる社会、
普通に暮らせる社会を目指す

外国籍の青少年への居場所提供事業

- 日本語教室CSN 保見教室/駅前教室
- みよしJSL教室
- 土曜日教室
- 高校生サポート教室

日本語教育事業

- 中級日本語教室
- プレスクール きらきら
- 放課後学習支援 Passo a Passo
- 教科ステップアップ教室
- 日本語指導者養成
- プライベートレッスン

情報提供事業

ネットワーク事業

- キャリアサポート
- 多文化共生の地域づくり
- カエルプロジェクトセミナー

torcida



トルシーダの学習者

国別内訳

	ブラジル	ペルー	中国	フィリピン	ネパール	ベトナム	ボリビア	その他	合計
CSN保見/駅前	9	1	7	12	2	2	1	—	34
みよしJSL	24	2	4	8	—	—	—	3 ※1	41
土曜日教室	17	3	2	9	4	1	2	—	38
高校生教室	4	1	1	6	1	—	—	1 ※2	14
中級日本語教室	11	1	6	7	2	6	—	5 ※3	38
きらきら	31	3	7	—	1	1	—	3 ※4	46
Passo a Passo	12	2	—	—	—	—	—	1 ※5	15
教科ステップアップ	1	1	1	2	1	2	1	—	9
キャリアサポート	4	1	7	7	2	2	1	—	24
合計	113	15	35	51	13	14	5	13	259

※1 タイ/インドネシア/ルーマニア

※2 パラグアイ

※3 韓国/バングラデシュ/インド/ボリビア

※4 タイ/ペルー&ブラジル/日本&フィリピン

※5 バングラデシュ

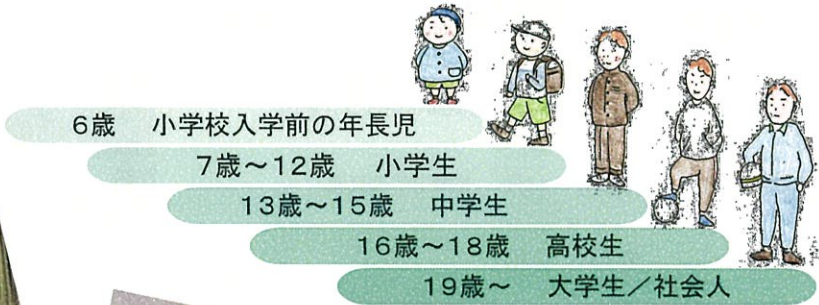


トルシーダの学習者

年齢別内訳

	就学前	小学生	中学生	高校生	大学生/ 社会人	合計
CSN保見/駅前	—	4	3	27	—	34
みよしJSL	—	27	14	—	—	41
土曜日教室	—	—	27	11	—	38
高校生教室	—	—	—	14	—	14
中級日本語教室	—	—	—	5	33	38
きらきら	46	—	—	—	—	46
Passo a Passo	—	15	—	—	—	15
教科ステップアップ	—	—	—	9	—	9
キャリアサポート	—	—	—	24	—	24
合計	46	46	44	90	33	259

【学齢超過】
日本の法律に規定されている義務
教育年齢を過ぎている状態



日本語教室

CSN保見教室/駅前教室

【委託事業】豊田市外国人の子どもの社会適応サポート事業

【場所】豊田市保見団地内/豊田産業文化センター内

【期間】通年 月曜日～金曜日 9:15～15:00

【対象】不就学、ブラジル人学校児童生徒、学齢超過

居場所提供事業

日本の学校に通っていない子どもたちの居場所。

友達を作り、日本のことを知り、将来のことをいっしょに考えながら日本語の基礎をしっかりと学ぶ教室。体験的な活動もたくさん取り入れ、実践的に学んだり、社会について知る機会もつくる。学校に通っていない子は一日、ブラジル人学校生は学校に行く前や後の時間を利用して教室に通う。

7歳～12歳 小学生

13歳～15歳 中学生

16歳～18歳 高校生



日本語学習

開講 2クラス編成

体験学習

4月

初めて日本語を学ぶ子と、小さいとき日本に住んでいた子など混在

クラス分けテスト

文法、漢字など習熟度テストでクラスを再編成 駅前教室スタート

5月

調理実習/習字

6月

田植え/岩崎城見学

7月

トヨタ自動車工場見学

8月

健康相談会/アルバイト体験

10月

稲刈り/芋ほり/ウォークラリー

11月

にじいろキャンプ参加

保護者面談 進路確認

12月

井郷中学校交流

修了式

3月



外国から来て友達もいなかった子どもたちが同じ目標を持つ仲間や学生ボランティア、地域の方との交流の中で日本語も、そして精神的にも成長する姿を見せてくれました。今年は特に、ほぼ休まず毎日学習を続け目標を達成した子が多く、非常に達成感のある1年間でした。(スタッフ2)

文化や言葉が違う子たちがクラスの中で反発し合う時期もありましたが、行事をきっかけにクラスの雰囲気は良くなり、互いの強い個性も認め合って、「仲間」として思いやる気持ちも育ったようです。(スタッフ1)

体験をきっかけに飲食店のアルバイトを始めたり、家業の手伝いをしながら勉強続けた子が全体の半数ほどいました。接客業のおかげで日本語を話すことにも慣れ、あいさつや連絡など、自然にできるようになってよかったです!(スタッフ3)



成果と課題

学齢期を過ぎて来日した子の中には、日本で暮らしていくため日本語を勉強して進学する!とはっきり目標を決めた子が多く、今年度初めて、教科指導や受験サポートを日本語教室とは別事業で行いました。おかげで日本語教室では日本語指導に集中でき、学習時間も確保できたことで日本語もよく伸びたと感じています。一方で、ブラジル人学校に通う子たちは将来について具体的現実的に考えるのが難しい状況で、学習の動機づけの難しさを改めて感じました。それぞれの状況の子どもたちに必要な居場所をどのような形で提供していくのかを分けて考えていく必要があると思います。

キャリアサポート 作文教室

【助成金】公益財団法人大阪コミュニティ財団
 【助成金】愛知県日本語学習支援基金
 【場所】豊田市保見団地内／豊田産業文化センター内
 【期間】9月～3月
 【対象】高校進学希望者

ネットワーク事業

義務教育年齢を過ぎて来日した子どもたちが日本で自身の進路を見つけられるようサポートする。また、高校進学を希望する子には受験に必要なサポートを行う。子どもと保護者が日本の学校制度や受験の仕組みをよく理解して、その子に合った、納得のいく進路、進学先を選べるようなサポートを目指す。

これまで、日本語教室CSNで行っていた進路のサポートを切り離したことで教室ごとの役割を明確にした。

4月 開講

7月 先輩の話を聞く会
全日制高校体験入学

8月 進路ガイダンス
保護者面談

10月 中学校卒業程度認定試験受験

11月 進路ガイダンス
メッセナゴヤ見学会

12月 中学夜間学級見学
受験対策開始（作文と面接）

1月 中学夜間学級面接

2月 高校願書提出

3月 高校受験／合格発表



はじめはずいぶん手厚いサポートを行っていたなあと思いました。しかし、実際に受験手続きなどが始まってみると、保護者のサポートが期待できない部分については確かに必要なことだと分かりました。（スタッフ1）

秋に昼間定時制高校の説明会に行ってから「高校進学」が現実的、具体的な目標として子どもたちの心に火をつけたのを感じました。学習意欲の高い子が授業だけでなくクラス全体を引っ張ってってくれました。（スタッフ2）

高校合格11名!
中卒認定試験 科目合格2名!
中学夜間学級への入学2名!

成果と課題

高校進学希望者は全員合格！どの子も、合格がゴールではなく、その先の目標のためにまずは一步を踏み出したという自覚があるという点が成果だと思います。今年度は進学を希望する子の人数が多く、特に入試に向けた作文指導の時間が不足しました。一方、進路確認の保護者面談では、日本での就学や進学経験のない保護者に制度や受験の仕組みを正しく理解していただくため、視覚的に分かりやすい資料、通訳（4言語）との綿密な打ち合わせが必要でした。また、日頃から指導者、通訳が保護者との信頼関係を築いておくこともとても大切だと感じました。

教科 ステップアップ教室

【助成金】愛知県日本語学習支援基金

【場所】トルシーダ事務所

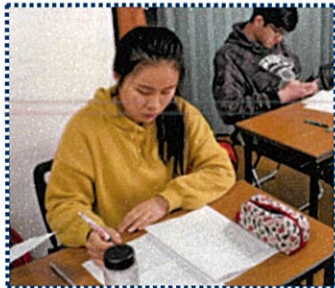
【期間】9月～3月 火曜日～金曜日 14:00～16:00

【対象】学齢超過

日本語教育事業

教科(数学、英語、理科、社会)の学習。高校受験対策、及び高校入学後、授業を理解するために各教科の基礎知識を日本語で学ぶ。

16歳～ 学齢超過



成果と課題

英語と数学については、2月から3月までに、定時制の過去問を数回行いました。英語、数学共に2月後半になって、半分以上点数がとれるようになった子が増えました。

日本語の語彙が少ないために一つ一つの項目を理解することに時間がかかりました。特に社会の歴史は、導入が難しく、資料集から写真や絵を多く使いました。全体に出席率はよかったです。

日本語教室CSN / 作文教室 / 教科ステップアップ教室 3教室の退室後の進路

公立小学校 編入	公立中学校 編入	中学夜間学 級進学	昼間定時制 高校進学	夜間定時制 高校進学	通信制高校 進学	日本語学校 進学	就労	帰国	学習終了	教室継続
1	1	2	4	6	1	2	2	3	5	7

日本語学習支援 土曜日教室

【助成金】愛知県日本語学習支援基金

【場所】豊田産業文化センター内

【期間】通年 土曜日 10:00～15:00

【対象】中学生及びブラジル人学校生、不就学

日本の学校に通っている中学生や、学齢超過で日本の高校へ進学したいと思っている子どもへの5教科学習支援、ブラジル人学校生徒への日本語学習支援、日本語能力試験受験指導を行う。

13歳～15歳 中学生

16歳～ 学齢超過

幼稚園や小学校低学年から日本の学校へ編入学して日本語に問題ないように見える子どもでも、掛け算、割り算、分数の足し算ができない子どもが多いことに驚きました。学校の授業についていくのが大変だろうなと思いながら支援しています。(スタッフ)



居場所提供事業

退室後の進路/継続

小学校編入学	中学校編入学	高校入学	専門学校進学	大学進学	就労	帰国	学習終了	教室継続	合計
-	-	21	-	-	-	-	2	15	38

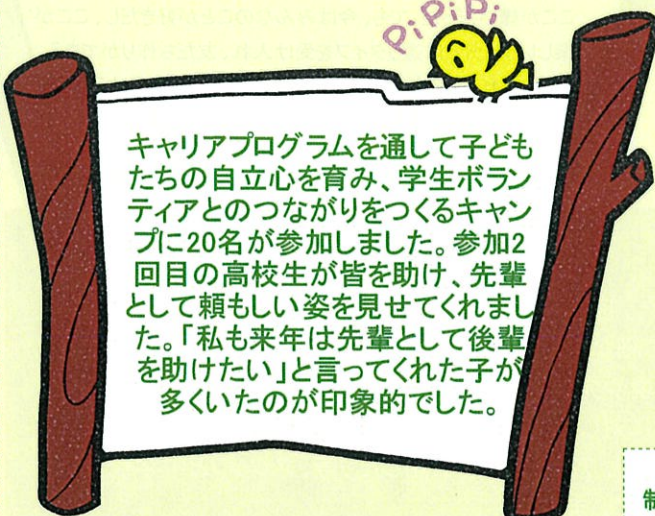
成果と課題

中1から中3までが同じ教室で学ぶことで、高校進学を目指して受験勉強に取り組む中学校3年生の姿を見て、1、2年生が高校受験を自分のこととして考え始めたり、進学に関する情報交換を行ったりと、「外国人同士で話せる居心地のいい居場所」だけでなく、「将来のために勉強をする場所」になりました。

中学生でも小学校程度の学習言語しか入っていない子どもが目立ちます。定期試験のやり直しの中で語彙や知識を増やすようにしていきたいと思います。

にじいろ☆キャンプ2018 岐阜トヨタ白川郷自然学校にて

協同 愛知淑徳大学コミュニティコラボレーションセンター(OC)
日本財団学生ボランティアセンター
NPO法人NICE(日本国際ワークキャンプセンター)



キャリアプログラムを通して子どもたちの自立心を育み、学生ボランティアとのつながりをつくるキャンプに20名が参加しました。参加2回目の高校生が皆を助け、先輩として頼もしい姿を見せてくれました。「私も来年は先輩として後輩を助けたい」と言ってくれた子が多くいたのが印象的でした。



「にじいろ☆キャンプ2018思い出ノート」

制作発行:愛知淑徳大学交流文化学部小島ゼミ3年生(2018年度)より

初期指導教室 みよしJSL

【委託事業】みよし市教育委員会委託初期指導教室運營業務
 【期間】通年 月曜日～金曜日 9:00～15:00(祝日と学校休業日は除く)
 【対象】みよしの小中学校に在籍する

- ①日本語初期指導を必要とする児童生徒
- ②日本語が十分ではなく学習が困難な児童生徒

居場所提供事業

習熟度と学年を考慮したグループで日本語指導を行う。来日直後は一日をみよしJSLで過ごし日本語を集中的に学ぶ。その後は、学校、保護者と相談しながら半日の通級、週に数回の通級などで学校生活へのソフトランディングを目指す。

また、日常会話はできても漢字が分からない、学習用語が入っていないなど学習に困難がある児童生徒へ学習支援を行う。学校からの送迎を行っている。



7歳～12歳 小学生

13歳～15歳 中学生

学習内容

小学校1～2年生	ひらがな、カタカナ 短い説明文やお話の音読 足し算引き算の計算練習 日記、絵本の読み聞かせ等
ビギナークラス	簡単なコミュニケーション 日本について、日本の学校について知る 日本語の積み上げ 音読 日記 ひらがな カタカナ 漢字の導入 計算練習等
日本語初級クラス	日本語の積み上げ 音読 読解 日記 漢字 体験学習等
中学生クラス	日本語の積み上げ 音読 読解 漢字 作文 高校受験のための指導等



「今日、散歩行く!」?これが毎日の子どもたちの声。この容赦ない要求に象徴される元気はつらつ(うるさいとも言ふ)な教室。年齢が少し高い、みよしJSLの中でもマイノリティーな国の子は戸惑っているのが分かる。そんな一人E君「最初ここが嫌いだった。でも、今はみんなのことが好きだし、ここが楽しい」自分とは違うタイプを受け入れ、友だち作りができるようになれば、学校でも大丈夫。ソフトランディングは日本語だけではないですね。(スタッフ)

成果と課題

多国籍化、多様化していることを肌で感じた1年でした。特に9月以降来日が増え、送迎やグループ編成に悩むことも多かつたし、結果的に初期指導としてのきめ細かな対応ができなかった部分もあるように思います。児童生徒の課題も「日本語」だけではなく、家庭環境や発達障害等様々で、教育委員会や学校との連携に加え専門家への相談など外国人児童生徒と保護者に対し包括的な支援体制の必要性を感じています。

そんな中、高校に合格した生徒のために制服を探したり、アルバイトを世話したり等、スタッフと中学校や高校の先生方との支援のつながりに事業の成果を感じています。

放課後学習支援 Passo a Passo

【助成金】愛知県日本語学習支援基金
【場所】みよし市立三好ヶ丘小学校内
【期間】5月～3月 火曜日・水曜日 放課後
【対象】三好ヶ丘小学校児童

学習の習慣づけと予習復習で「一步一步 (Passo a Passo)」前へ！を目指す放課後教室。
放課後の教室で宿題や計算、漢字のカードを使って楽しく勉強し、子供たちの居場所にもなっている。

7歳～12歳 小学生



日本語教育事業

成果と課題

計算の勉強をしたことによって買い物ごっこができるようになりました。子どもの人数に対して、ボランティアが足りず、PTAにボランティアの募集をしたりしてボランティアを増やしたいと考えています。来年度は、目標を持って計画を立てて実施をしていきたいと思ひます。

日本語学習支援 高校生サポート教室

【助成金】愛知県日本語学習支援基金
【場所】豊田産業文化センター内
【期間】通年 土曜日 10:00～15:00
【対象】高校生

高校生活を楽しく過ごせるようサポートする。宿題、授業でわからないところの補習、中学校でやり残した問題等の個別指導をする教室。

16歳～18歳 高校生



退室後の進路/継続

教室へ通ってくる生徒はみなまじめで、希望を持って高校生活を送ろうとしている。今後も彼らに寄り添ったスタッフになれるよう研鑽を重ねたい。(スタッフ)



居場所提供事業

小学校編入学	中学校編入学	高校編入学	専門学校進学	大学進学	就労	帰国	学習終了	教室継続	合計
-	-	-	1	1	-	1	2	9	14

成果と課題

生徒の希望により、日本語能力試験問題に取り組み、2人がN2に合格、1人がN3に合格しました。また、高校3年生が希望する専門学校や大学へ合格しました。

生徒の能力差(日本語能力を含む)が大きく、最終的には個別指導にならざるを得ません。安定的な指導者の確保が今後の課題です。

プレスクール きらきら

【委託事業】豊田市教育委員会委託豊田市プレスクール開催業務
【場所】豊田市立西保見小学校内／豊田産業文化センター内
【期間】11月～3月 月曜日・木曜日・土曜日 全30回
【対象】豊田市内の外国人年長児

日本語教育事業

日本語ゼロの子も日本語に不自由のない子と一緒に学び、小学校入学の準備をする教室。運筆、ひらがなの学習、絵本の読み聞かせ、工作等を行った。

6歳 小学校入学前の年長児

西保見の教室では体育もします。
並んで歩いて座って待つ。ルールを学びます。



自分の色絵本を作りました。きれいなひまわり！？



『おべんとうバス』の読み聞かせの後、お弁当を作りました。



Livia mui da aula
uito fic n gu os ada ãria!!
一回一回の授業、ありがとうございました。信頼できるスタッフの皆さんに感謝しています。皆さんが一生懸命やっていたことが分かり、私たち親は安心感を得ることができました。プレスクールへ通うことは幸せで充実した時間でした。神様が皆さんの仕事を祝福してくださいますように。

Que Deus a bençoe ricamente o trabalho! Indo de vcs. Dã pra ver que é de coração e vcs nos passam tranquilidade.

to obrigada por ca a. Foram dias m s alegres e grati antes. Nos pais os sentimos se ros e agradecid de coração Por c vo. Volunt

保護者からのお礼の手紙

生まれた国

日本	ブラジル	中国	ベトナム	タイ	合計
28	13	3	1	1	46

家庭で使う言葉

日本語	ポルトガル語	中国語	スペイン語	ポルトガル語 & 日本語	スペイン語 & ポルトガル語	日本語 & 繋がりのある国の言葉	合計
2	19	4	1	5	2	13	46

成果と課題

西保見小学校の教室では、全員に語彙調査の進捗が見られました。最初は騒がしかった子どもたちが徐々にルールを意識し、指導者の合図で姿勢を正し静かにできるようになっていきました。また、保護者と離れられない子や、不安で落ち着きのない子もいましたが、一人で出来るが増えていくと、積極的に参加するようになりました。「楽しかった」という子どもたちの声が励みになりました。

外国人就労支援 中級日本語教室

【委託事業】豊田市外国人就労支援業務
【場所】豊田高等職業訓練校内
【期間】通年 月曜日～金曜日 10:00～15:00
【対象】就労を希望する16～45歳

就労を希望する若年層の外国人を対象として、就労に必要なコミュニケーション能力の習得のための中級レベルの日本語教室及び日本語能力試験N3対策講座を開催した。また、キャリアカウンセリングを行いそれぞれの適正を知るとともに、就労支援プログラムとして就職に必要なセミナーを実施後、企業での職場見学や職場体験を行った。

25名就労!!

就労支援プログラム

1	ハローワークセミナー	ハローワークで日本の雇用形態や社会保険、雇用に関する最新情報の提供について学ぶ
2	職場見学、職場体験	ホテルで客室係の職場体験
3	専門学校見学	製菓専門学校及びIT専門学校で体験入学。勉強内容や就労に必要な資格等について知る
4	職場見学	自動車部品製造会社及びロジステックの会社を見学
5	外国人就労セミナー	日本の会社での就労で直面しやすい問題点や解決方法、相談窓口等について外国人の雇用に詳しい専門家から学ぶ
6	メッセナゴヤ見学	東海地方の色々な業種の会社のブースを訪問して仕事の内容や就労に必要な資格等についての情報収集
7	ハローワークセミナー	ハローワークの求人票の見方や履歴書を書くときのポイント、求人検索の機械の操作方法についてセミナーを開催
8	就労支援セミナー	求人情報を見るときポイント、職種や必要な資格等についてのセミナーを開催
9	職場体験	コンビニエンスストアで職場体験
10	就労支援セミナー	履歴書の書き方や自己PRの仕方について
11	就労支援セミナー	面接時の注意点について、模擬面接
12	職場見学	総合病院の職場見学
13	職場見学	工作機械部品製造会社の職場見学
14	職場体験(3日間)	工作機械部品製造会社で1日4時間×3日間の職場体験
15	職場見学	工作機械部品製造会社の職場見学
16	とよたビジネスフェア見学	豊田市内の企業ブースを見学し、就労に関する情報収集

職場のコミュニケーションだけでなく、幼稚園や小学校からのお知らせが少しわかるようになったり、ちらしや看板に何が書いてあるかわかった時はうれしかった(学習者)



日常的な日本語の習得により、日本での生活に自信が持てるようになったという感想が多かったです。また、地域で暮らす母語の異なる外国人同士が日本語を介して仕事や生活の情報交換を行う交流の場にもなりました。(スタッフ)

成果と課題

日本語教室では職場でのコミュニケーション能力を身に付けることを重視しました。また、就労支援プログラムで職場でのルールやマナー等について理解を深め、職場見学や職場体験の機会を提供した結果、ほとんどの学習者が就労に至りました。入室時漢字がほとんど読めなかった学習者もいましたが、日本語教室を毎日開催したことで日本語能力試験N3を8人が受験し、6人合格しました。

地元企業へのPRが足りず、就労支援プログラムで見学ができた職場が5か所しかなかったことが課題です。今後地元企業との連携を深め、職場見学や職場体験ができる業種を増やしていきたいです。また、地元企業にどのような人材が求められているか、どのくらいの日本語レベルが必要かなど情報収集を行っていききたいと思います。

日本語指導者養成 日本語を教えるための基礎講座

【自主事業】

【場所】豊田産業文化センター内

【期間】5月～6月 全19回

【対象】子ども・若者の日本語支援に関心のある方

日本語教育事業

これから子どもたちの支援に関わりたい人、日本語教育の勉強はしたけれど、教えたことがない人、日本語教室でボランティアをしているけれど、もっと色々なことを知りたいと思っている人、子どもと関わるためにこれだけは知っておきたい知識を学ぶ講座を、これまで培ってきた経験とノウハウを伝え色々な場に支援の輪を広げる目的で開催した。

講座内容

1 現状と背景	外国につながる子どもたちの背景や文化、宗教等お国事情について
2 それぞれの年代に寄り添った支援	それぞれの年代でどんな支援が必要なのかを年代別に考える
3 目標設定について考える	それぞれの状況に合った日本語学習や目標設定について考える
4 日本語の知識	私たちが無意識に使っている日本語はどんな言語か(起源、音と拍、文字・・・)
5 日本語の教え方	文字の導入から文の種類、動詞の活用、文法の積み上げを実際の教材を使って学ぶ
7 体験学習の教材の紹介と活用法	実際に生活の中にあるものを題材に学ぶ体験学習の理論や方法について
8 活動事例紹介	農業体験、社会見学、地域のお祭り参加など、どのような体験活動で何を学ぶのかを紹介
9 ワークショップ&発表会	体験学習の授業計画を立てていただき、グループ発表

成果と課題

現在、日本語教室で指導者、ボランティアとして活動している参加者を中心に、指導のための基礎知識を学び子どもたちに必要な支援について真剣に考え、実践的に学ぶ講座となりました。日本人、バイリンガル指導員として活動している方が参加。70%を超える高出席率。講座参加者のうち、2名が日本語教室での研修を経て、トルシーダのスタッフとして活動を始めています。

地域のいろいろな場に支援の輪を広げるため、講座を継続的に開催したいが、マンパワーを考えると難しいことが課題。

日本語／教科 プライベートレッスン

【自主事業】

【場所】トルシーダ事務所

【期間】通年

【対象】1人～5人で勉強したい方

日本語教育事業

- 上級レベル 2名 時事ニュースを読んで意見をまとめる / 作文の練習
- ゼロレベル 2名 ひらがな、カタカナ、簡単な日常会話
- ベトナム人研修生 6名 日本語能力試験N3、N4対策
- 小学校4年生 1名 国語の補習

多文化共生の 地域づくり事業

【委託事業】愛知県多文化共生の地域づくり推進事業
【場所】豊田市、岡崎市、西尾市、知立市
【期間】7月～1月
【対象】地域に住む外国籍住民と日本人住民

愛知県内には、現在25万人を超える外国人が暮らしている。また、平成31年4月から新たな外国人材の受入れが始まり、今後ますます地域で暮らす外国人の方が増えていくと予想されるが、地域では、ゴミの分別や駐車場のルールが守られないなど様々な問題が発生している。一方で、自治会等に参加し、地域活動の担い手として活躍する外国人もいる。

この事業は「多文化、多様性が地域で輝く会」として、西尾市の「外国人との共生を考える会」と事業体を作り実施した。

実施内容

①インタビュー

地域に住む外国人の背景や先進地域での取組を知る為の調査を行いました。

②「地域多文化コーディネーター」の育成研修を開催(豊田市、岡崎市、西尾市各3回ずつ)

インタビューの内容を踏まえ、地域で共に暮らすために必要なことを考え、外国人と日本人との架け橋となる人材の研修を行いました。

③多文化地域づくりのためのガイドブックと、外国人住民向けのリーフレットの作成

(ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、中国語、ベトナム語、英語の6ヶ国語に翻訳)



あいち地域多文化コーディネーター育成研修の様子
地域の方、行政の方、企業の方など様々な皆さんの参加がありました

成果

①地域に住む外国人と日本人の架け橋となる「あいち地域多文化コーディネーター」43名が認定されました。

②日本人と外国人が地域で共にくらすためのガイドブックを作成しました。

https://www.pref.aichi.jp/uploaded/life/228557_700795_misc.pdf

③日本で暮らそう～快適な地域生活のために～

https://www.pref.aichi.jp/uploaded/life/228557_700796_misc.pdf

カエルプロジェクトセミナー

【主催】三井物産㈱

【協力】特定非営利活動法人国際社会貢献センター(ABIC)

【場所】豊田市国際交流協会・みよし市学びの森

【日時】10月13日(土)、15日(月)

ネットワーク事業

「カエルプロジェクト」は、ブラジル・サンパウロ市で行われている活動で、日本からブラジルに帰国した児童生徒がスムーズに生活ができるようにサポートしており、ブラジル三井物産が支援している。

2009年から日本でもブラジルから心理学者・臨床心理士の中川郷子博士を講師として招き、在日ブラジル人の集住地域で、カエルプロジェクトセミナーとして、子どもの将来を考える懇談会や親子のワークショップを開催している。



懇談会内容

日時	場所	内容	参加人数
10月13日(土)	豊田市産業文化センター3階 豊田市国際交流協会	個別相談会	7人(2組)の親子
		ワークショップ	23人(10組)の親子
10月15日(月)	みよし市学びの森 みよし市日本語初期指導教室	子どもたちの悩み、状況等についてポルトガル語で話を聞いていただく	8人
		みよし市の心理カウンセラーと意見交換	3人
	トルシーダ事務所	子どもたちの対応についてアドバイスをいただく	7人

成果

ブラジル人学校に通っていて自閉症の認定を受けているが日本の学校への編入を考えているという相談がトルシーダにあり、カエルプロジェクトセミナーの個別相談につながりました。日本の学校や特別支援学級の状況をよく知る中川先生にポルトガル語で相談でき、適切な編入準備につながりました。

グローバル愛 Global Volume. 111



両親はともにボリビアで医者をしていて、日系3世の父親が「日本で医者をやりたい」という思いから、今年5月に家族で再来日した。2003〜10年にも日本で過ごし、ボリビアに戻ってから祖母のいるブラジルに移り住み、中学校を卒業...

食だ。特におにぎりが大好きで、真はツナマヨネーズがお気に入り。「炊飯器に水を入れてスイッチを押すだけで、あんなにおいしいご飯ができるなんてすごい」と目を輝かせる。ボリビアにももちろん米はあるが、細長いインディカ米...

日本食が勉強の活力に

業。現在は来春に日本の高校に入るため、豊田国際交流協会(TIA)が開く日本語教室に通っている。日本語の勉強の傍ら、数学や理科を学ぶため塾にも通う毎日。日夜勉強に励む生活を支えているのは日本...

健康にもいい」と話す。父親はトラック運転手として働きながら、日本の医師免許を取得するため、仕事終わりに勉強に励む。母親も日本語教室に通う。その背中を見て自身も医者を目指す。ボリビア、サンタ・クルス・デ・ラ・シエラ出身 赤嶺アレシンドラさん(16) 豊田市、学生



ブラジルの隣の国とあって、みんなサッカーが好きです。私の地元にも、中学校と高校の近くにサッカー場がありました。学校終わりに男子に交じってサッカーをしていました。男子よりも私の方がうまかったです。プロの強豪である2チームの伝統的な試合は、国中の人が観戦します。私の家族もみんな応援していました。

NEWS 南米の内陸に位置するボリビアは、太平洋に面する隣国チリに対し、海へのアクセスを確保する領土交渉に応じるよう、2017年に国際司法裁判所に訴えた。今年10月、チリ側に交際に応じる義務はないとの判決が示された。19世紀後半のチリとの戦争で両国の領土を失っていた。両国は、領土問題の影響で1978年から断交している。



初めの新連載! 県内版の最新情報! 県内版の最新情報! 県内版の最新情報!

広報の記録

多民社会 ニッポン 耕論

2019.2.18 朝日新聞 移民2世をたどって 2. 「あの1年があったから...」 産間バトリキさん(23)は、その言葉に切なげな笑顔を浮かべた。1年前、日系3世のラジールさん(三重県四日市市)を本社で雇った。自動車電子部品大手のラジールさん(三重県四日市市)を本社で雇った。自動車電子部品大手のラジールさん(三重県四日市市)を本社で雇った...

あの1年が運命を変えた



外国にルーツを持つ子どもたちにも、日本語や学習の支援を掲げてきた伊東浄江さん。「もともととは普通の主婦でした」=愛知県みよし市 休日には街に出て、のんびり独身生活を楽しむという産間バトリキさん。三重の自動車関連大手で正社員として働く一名古屋市内 地のかよと、近くの保育園に顔を出した。サンパウロで生まれ、テラセキの両親と2歳で一度来日。10歳で再来日したとき以来、日本語をかなり忘れてきた。だから、日本語を学ぶ必要はないかと、母は言っていた。...

移民の教育 未来への投資 多民社会 ニッポン 耕論. Includes a portrait of a woman and a puzzle graphic.

2018年10月30日 朝日新聞

「移民企業」と呼ばない移民企業がめまろうとしている。受け入れるのは「労働力」、共に暮らす「人」ではないという懸念がある。だが、それは現実には吹き飛ばされてしまうのでは、外国人と共生する「多民社会」の経験を重ねた内外の現場から、懸念の声が聞こえる。

増える外国籍の子 学校苦悩

日本語が壁 特別支援学級も 判断難しく 支援足りず. 外国籍の子が増える中、学校で苦悩する子どもたち。日本語が壁となり、特別支援学級も判断が難しく、支援が足りずという声が上がっている。

2019年2月18日 朝日新聞

化が進んで、問題がより複雑になっていく。夜間中学に行きたくて選んだ。膝がある、実際にいま通う全員の生徒の8割が外国籍。しかし、また都府県に3校しかないのが現実。日本語は大事。だけど学力はまた別の話。基礎学力のある子が伸びてくると、日本語は大事。だけど学力はまた別の話。基礎学力のある子が伸びてくると、日本語は大事。...



2018年度を振り返って

平成30年12月「出入国管理及び法務省設置法の一部を改正する法律」が成立し公布されました。この法改正は新たな在留資格「特定技能1号」「特定技能2号」を創出、出入国在留管理庁の設置等の内容とするものです。外国人人材の受入れ拡大から多文化共生元年ともいわれるそうですが、これまでの課題は置き去りにされたままでの改定です。トルシーダにもたくさんの取材がありましたが、様々な課題が解決しないままでの受入れ拡大は、同じ問題が繰り返されるだけです。

今年度は、多文化共生の地域づくり事業等を通し、自治区との連携も密になりました。活動の経験とネットワークを活かし、外国人の子ども若者の教育環境の整備と誰もが住みやすい地域づくりを目指して行きたいと思います。

トルシーダ代表 伊東 浄江



トルシーダ会員の皆様

トルシーダの活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。
皆様の会費に支えられ、平成30年度も多くの子どもたちが日本語を学び、
進路を見つけて次のステップに進んでいくことができました。
これからも応援よろしくお願いいたします。

ご寄付を下さったみなさま

大谷かがり様
オートK・Cカイカワ様
大橋幸美様
斉藤尚文様
鈴木明子様
高木謙行様
高木和子様

東海労働金庫NPO寄付システム(15名)

東郷暢彦様
豊田彬子様
豊田西ロータリークラブ様
林田由佳様
三井物産株式会社
(50音順)

多文化社会の明日を日本語で育む

NPO法人トルシーダ

〒471-0034豊田市小坂本町1-4-12梅村ビル3F

090-6462-3867

torcidajpjp@yahoo.co.jp

ホームページ

トルシーダ



Facebook

NPO torcida

